



# ネイチャーセンターだより

2016年4月号

## いきもの図鑑



### ミズバショウ (サトイモ科)

和名：水芭蕉

雪が融け始めると同時に、湿地に顔を出す早春の花。白い苞（ほう）は葉が変形したもので、それに包まれた黄色いトウキビの形をしたようなのが花。数千もの花が密生している。季節が夏に進むにつれ、湿原は色とりどりの花たちで華やぐが、その頃ミズバショウは、緑の葉だけが大きく成長し、これが春の可憐な花だったとはちょっと想像しがたい。

### 【上旬】

長かった冬に終わりを告げ、太陽の陽射しがぐんぐん力を増し、生きものたちが元気よく活動し始める。自然学習林ではミズバショウをはじめ、ザゼンソウ、フクジュソウ、エゾエンゴサクなどが開花する。池ではエゾサンショウウオやエゾアカガエルが産卵する。

### 4月の見どころ



### 【下旬】

ゴオオーと尾羽を振動させて急降下するオオジシギ（雷シギ）が草原へ、コムクドリやアオジが森へ、繁殖のために渡ってくる。風蓮湖は、オオハクチョウやカモ類の姿が減り、変わってミヤコドリやキアシシギなどのシギ類が旅の途中に立寄り、賑わう。



フクジュソウ

# 見どころMAP

草原にキツネの巣穴があり、今年もかわいい仔ギツネの姿が見られるかもしれません。

まだ繁殖しない若いオオワシが残っていますが、その姿も徐々に減っていくので、お見逃しなく。

ミズバショウやフクジュソウ、ヒメイチゲなどが次々と開花します。



ヒバリやオオジュリンなど草原で繁殖する小鳥たちが美しい声でさえずり、賑やかです。

海岸側の砂利道が観察路です

ミヤコドリがくちばしを器用に使って二枚貝を開けています。

タンチョウ夫婦が湿地で繁殖し、エサを探している姿がみられます。

自然学習林内の巣箱では、ハシブトガラやシジュウカラたちが繁殖の準備を始めます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

⊗ 通行止め

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## カモたちを見ていると・・・

3月中旬に入ると、冬は本州で過ごしていたカモやオオハクチョウがどんどん風蓮湖に飛来し、水面が賑やかになります。オオハクチョウは「コオコオー」などと鳴き、仲間とコミュニケーションを取り合っています。「人がカメラを向けてるぞ！」なんて会話しているのかな、と想像するのが楽しいですがよく見ていると、カモたちのある動作に気づきます。

例えば体重が8kg以上あるオオハクチョウは、身体が重いので助走をつけないと飛び立てません。そのため写真のように波紋が広がります。

また望遠鏡を覗いているとピョンと水面に潜るカモがいます。種によってエサの獲り方や食べるものが違うのです。4月中旬には、繁殖のためほとんどのカモが北方へ旅立ちますが、風蓮湖周辺で繁殖するカモもいるので、ぜひそれぞれのカモの行動に注目してみてください。



キンクロハジロは潜水して、甲殻類や巻き貝、水草、昆虫など幅広く食べる。足は体の後方についていて潜水に適しているが、陸上を歩くのは苦手。

オナガガモは水面の植物の種や逆立ちして水草を食べる。足は体の中央についていて、陸上を歩くのが得意。

トピックス

## 2/17 「ワシワシウォッチング」

毎年人気のバードウォッチングを今年も行いました。川口漁港で氷下待網漁をされている漁師さんに、網の仕掛け方や獲れた魚について教わりました。漁師さんが雑魚を氷上に置きその場を離れると、警戒しなからず1羽のトビがやって来て、その後カラスや目当てのワシたちが後に続き、魚を空中で奪い合っていました。その後、槍昔に移動し多くのワシが一本の木に止まる「ワシのなる木」が、幸運にも見られ、参加者からは歓声があがりました。



## 2/14 ボランティア主催スnekまつり

冬の自然学習林を楽しんでもらおうと今回初めて2月に開催しましたが、当日は悪天候でスノーシュー体験は中止となってしまいました。しかし室内プログラムの羊毛フェルトを使った「マグネット作り」には約30名が参加してくれました。スタッフから作り方を教わりながら、小鳥やお花など好きなモチーフを選んで、自分だけのマグネットを作って楽しみました。



## 春のオオハクチョウ調査

風蓮湖・春国岱  
2016年春 オオハクチョウ飛来数  
3月18日 現在  
埼玉県春日部市立自然公園ネイチャーセンター  
レンジャー レンバ

	風蓮湖全体	内(春国岱、スワン44周辺)	温根沼周辺
成鳥	1639	475	914
幼鳥	157	54	98
合計	1796	529	1012

春の渡り飛来数調査の結果は、温根沼と風蓮湖合わせて2,808羽でした。例年の同時期とほぼ同じ飛来数だったので、今年も繁殖地に向けて順調に北上しているようです。

## 新しいパンフレット配布中！

ネイチャーセンター開館当初からの20年分の調査データをまとめた一般向けのパンフレットを作成しました。風蓮湖と春国岱が、野鳥たちにとって重要であること、この環境を守っていくために保全が必要なることをわかりやすく説明しています。パンフレットはネイチャーセンターで配布しています。



## 春国岱クイズ

先月号の答え…D

# 雲雀

クモのスズメと書いて、何と読むでしょう。  
A・B・Cからえらんでね

ヒント「雲に届くほど高く舞い上がる小鳥」を言い表していて、  
春国岱の草原で、毎年繁殖しているよ！



A ヒバリ



B シジュウカラ




C ノゴマ

# イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ  
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
4月17日（日） 10：00 ～12：00	フィールド講座① エゾアカガエルって どんな生きもの!? ～春のカエルを見てみよう！	無料	・定員：20名先着（要申込） ・対象：小学生以上～大人 ※小学生は保護者同伴 ・講師：井上竜駿さん ・集合：春国岱ネイチャーセンター ・持ち物：長靴、野外で活動できる 服装 ※荒天の場合は室内プログラムのみ
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">予告!</div> <div> <p>●5月下旬 「春のことりバードウォッチング」(仮) 少し早起きをして、鳥たちのさえずりシャワーを浴びよう!</p> <p>●6月か7月頃 ボランティア説明会 「春国岱の外来種オニハマダイコンを 退治して食べよう!」(仮) 詳細が決まり次第、ホームページなどで 随時お知らせします。</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div>			

募集中!

## ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。主な活動は毎年行っている「ネイチャーセンターまつり」の運営や、自然情報の提供などです。ボランティアは、いつからでも経験がなくても始められます。お気軽にお問い合わせください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆年会費（保険料）：300円

ネイチャーセンターまつりの  
ツリーイング風景（2014）



## フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆4月休館日：6、13、20、27日（5/3.4.5のGW期間中は開館）

開館時間：9：00～17：00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録